

棲 神 第四十八号 目 次

室住先生近影

所 感……………学長 望 月 日 滋

序……………理事長 小 林 顯 栄

「御講聞書」にそうて……………室 住 一 妙 (1)

「御講聞書」考……………浅 井 円 道 (19)

御講聞書について……………若 杉 見 龍 (30)

宗学の主体性と客体性……………茂 田 井 教 亨 (42)

身延山における日蓮聖人……………上 田 本 昌 昌 (52)

天台大師の少年時代……………野 村 耀 昌 (67)

——靈夢と両親の死——

三乘における仏と法華経の积尊……………河 村 孝 照 (87)

adhimukti-sraddhā……………望 月 海 淑 (103)

——譬喩・信解・藥草喩品を中心として——

鎌倉浄土教の展開における対外的契機……………川 添 昭 二 (116)

江戸中期における諫暁活動……………宮崎英修(127)

——了榎日雄の行動に見る——

身延山墓碑史考……………町田是正(139)

——江戸期諸大名関係を中心として——

横須賀問答の「裂邪網」について……………林是幹(159)

身延裏参道考……………秋山智孝(185)

線弁考……………宮崎海優(196)

老人ホームに於ける処遇……………長谷川寛勝(212)

純粹宗学への道……………疋田英肇(222)

ガンダラー彫刻と大乘仏教の推移……………高橋堯昭(236)

「仏教聖典」に於て仏教用語として用いられた英語について……………大森孝(254)

——その一部——

室住先生略歴・著作目録……………(268)